

株主のみなさまへ

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日

第76期 中間報告書

CONTENTS

- 01 TOP MESSAGE
- 03 上半期主要News
- 05 平成27年度事業別
営業概況、事業別の概況
- 07 連結財務諸表
- 10 会社概要／事業拠点

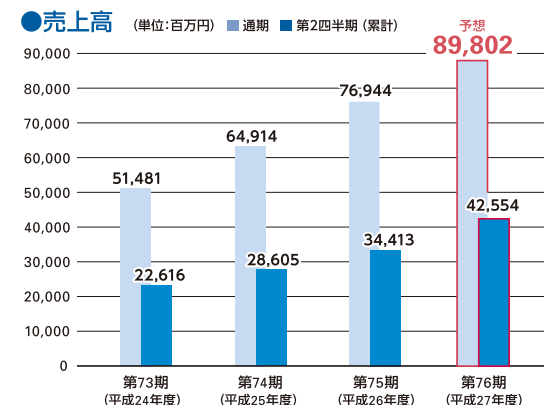
株主のみなさまへ。

Q 第76期(平成27年度)第2四半期決算(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の総括をお願いします。

A 平成27年度の第2四半期決算は前年同四半期比で増収増益となり、昨年度に引き続いて中間期における最高益を僅かながらも更新しました。航空機内装品事業では、ボーイング787型機関連製品やシート(旅客座席)の増産、スペアパーツ販売の増加などによる売上高の増加に加えて、為替レートが前年度対比円安で推移してドル建て売上高が増加しました。航空機器製造事業では熱交換器等の防衛関連製品の受注が回復し、又、航空機整備事業では主に機体整備で受注が増加し、それぞれ売上高は増加しました。

利益面では、シート事業において開発費や生産コストが高むと共に、下期以降の損失工事を見込んでこの第2四半期末で工事損失引当金を計上したことが響き、前年同四半期比で小幅な増益に留まりました。

これらの結果、グループ全体では、売上高 425億54百万円(前年同四半期比81億41百万円増)、営業利益 39億8百万円(前年同四半期比 7億71百万円増)、経常利益 39億81百万円(前年同四半期比 3億84百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 26億90百万円(前年同四半期比1億52百万円増)となりました。



代表取締役社長 鈴木善久 平成27年9月

士魂商才

技術のジャムコは、士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めています。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

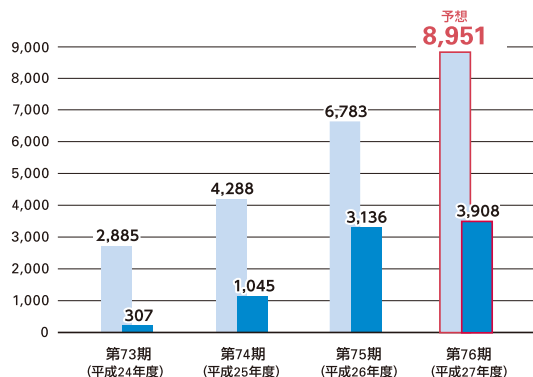
Q 平成27年度通期の見通しはいかがですか？

A 第2四半期決算では、売上高の減少に加え、想定以上の工事損失引当金の計上もあって営業利益、経常利益共に今年5月に公表した業績見通しを残念ながら若干下回りました。通期の業績予想については、下期の想定為替レートを当初計画の1米ドル当り115円から120円に変更した上で見通した結果、今年5月に公表した業績見通しに変更ありません。第2四半期決算における売上高減少の主な要因は、上期に予定していたシートの出荷の一部が下期以降にずれ込んだことによるものですが、下期におけるシートの出荷によって通期の売上高は回復する見込みです。利益面については、シートによる売上高が増えても残念ながら利益への貢献にはもう少し時間がかかる状況ですが、シート以外のスペアパーツを含むギャレーやラバトリーなどの貢献により下期は堅調に推移するものと見通しています。又、航空機器製造事業、航空機整備事業については、概ね当初計画通りに推移するものと予想しています。なお、配当につきましては、当初の予定通り今期末の結果をもって行わせて頂きたいと思えます（中間配当は無し）。

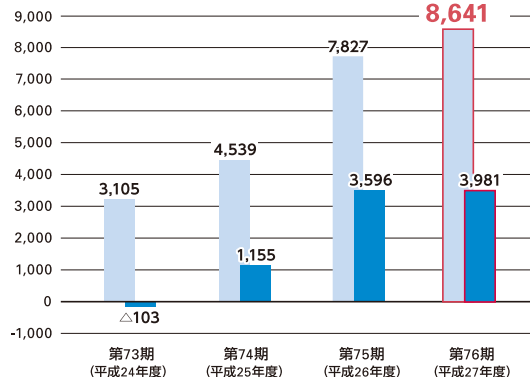
Q 最後に株主のみなさまへのメッセージをお願いいたします。

A 今年3月に念願の東証一部上場を果たし、又、9月には、ジャムコは創立60周年を迎えることができました。これまでの株主のみなさまをはじめ、多くの方々のご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

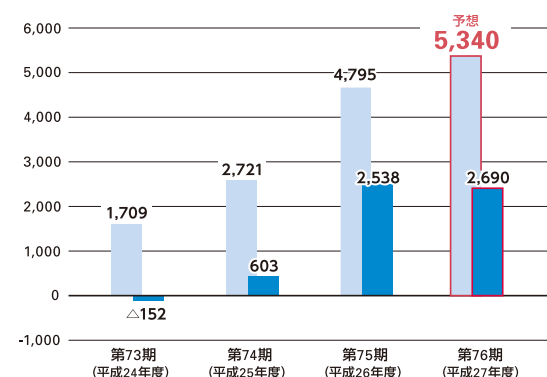
●営業利益 (単位:百万円) ■ 通期 ■ 第2四半期 (累計)



●経常利益 (単位:百万円) ■ 通期 ■ 第2四半期 (累計)



●親会社株主に帰属する純利益 (単位:百万円) ■ 通期 ■ 第2四半期 (累計)



Q シート事業の今後の見通しについてもう少し詳しく教えてください。

A 昨年4月から本格参入を決めた新規事業のシートですが、本格参入2年目でもあり、開発費や生産体制の構築や改善などの初期コストが高み、又、外注部品費についても当初計画に比して高止まりしていることから、所定の収益性の実現には今しばらく時間がかかる状況です。現在、これら部品レベルの設計の見直しをはじめ、当社が生産してきた主要部品の国内子会社への生産移管など、総合的にコスト削減を進め収益性の改善を図っているところです。一方、納期、品質につきましては、既にエアラインでご使用頂いているシートでの実績を見ましても、お客様に大変ご満足頂けるレベルとなっています。今後共、顧客の期待と信頼を裏切らないよう品質と納期を確保しつつ、収益性の改善を更に進めジャムコの将来のコア事業の一つとして育てる所存です。

これからもみなさまのご期待に応えられますよう、中期経営方針に掲げる「強い会社」の実現に向けて、引き続きグループ一丸となって取り組んでまいります。

新拠点

航空機内装品カンパニー 資材物流施設(中条倉庫)竣工



①



②



③

①外観
②③作業風景

「航空機内装品カンパニー資材物流施設」は本年2月16日に竣工いたしました。建設地の中条(なかじょう)工業団地は新潟県胎内市にあり、同県村上市の新潟ジャムコと東京都立川市の内装品工場を結ぶ動線上に位置し、また周辺に数ある部品製造の委託先とのアクセスも容易です。最新の空調設備等を完備した総面積8千1百㎡の平屋建ての物流施設であり、冬季の積雪対策も万全、深い庇を付けて10トントラックが横付けできます。

ジャムコフィリピン 第2工場取得



①



①第2工場外観
②工場の様子

当社の海外拠点、フィリピン国クラーク特別区にありますJAMCO PHILIPPINES, INC.では、ボーイング777型機向けのフローアパネルの生産に向けて工場を新たに取得し、改修工事を終え本年5月より稼働を開始しました。本格的な生産に向けて現在フローアパネルの試作と設備認定の取得を進めており、本年11月から完成品の生産を開始し、12月にボーイング社への初出荷を予定しています。

※フローアパネルは航空機客室の床板部分であり、当社としては初めて手掛ける部位となります。内装品ではなく機体の構造部材ですが、長年培った当社のハニカムパネルの製造/加工技術がボーイング社から高い評価をいただき、受注に至ったものです。

宮崎ジャムコ 第2工場取得



昨年4月のシート事業への本格参入決定以来、1年をかけてシートの製造拠点の選定を行ってきました。そして本年3月、量産拠点を宮崎ジャムコとしたうえで新工場を取得することを決定し、8月17日に宮崎県よりこの新工場（宮崎ジャムコ第2工場）の立地認定書を無事受領しました。新工場（宮崎市田野町）は、敷地面積2万5千㎡、床面積は6千㎡の規模で、宮崎ジャムコから車で10分ほどの場所に位置しています。12月にシートのバックシェルやコンソールの組立ラインが稼働開始予定です。

中条ジャムコ操業開始

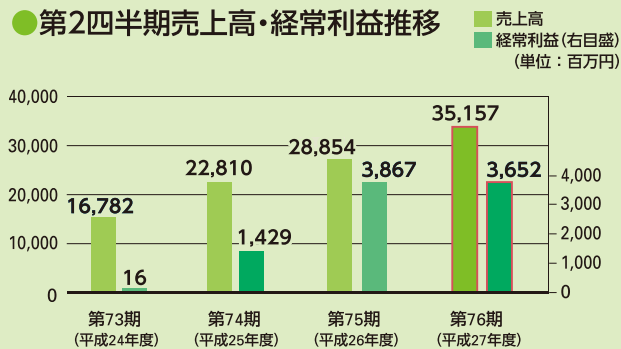


①外観
②集合写真

本年10月1日、株式会社中条ジャムコが操業を開始いたしました。中条ジャムコは、新潟ジャムコの100%出資子会社として本年6月に設立し、航空機内装品カンパニーの委託先のひとつであった株式会社ジェーシーエムから航空機事業の事業譲渡を受けて操業を開始いたしました。従業員数96名、所在地は航空機内装品カンパニー資材物流施設（中条倉庫）の道路を隔てた向いにあり、航空機内装品事業を支える新たな拠点となります。

航空機
内装品事業

●第2四半期売上高・経常利益推移



売上高
351億57百万円

経常利益
36億52百万円

売上高

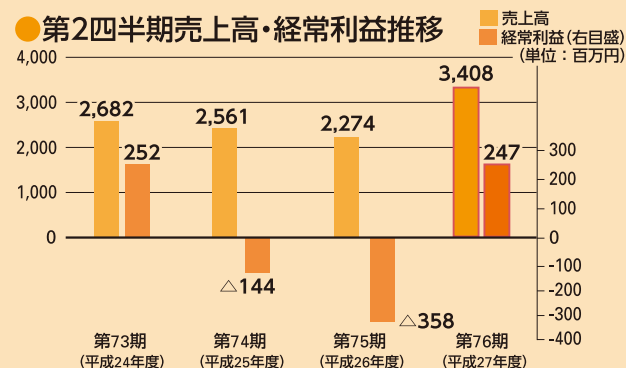
787関連内装品を中心に出荷が引き続き好調で円安効果もあり、前年同四半期に比べ大幅に増加しました。

経常利益

シート事業での開発費や生産コストの増加、工事損失引当金の計上等により、前年同四半期に比べ減少しました。

航空機器
製造事業

●第2四半期売上高・経常利益推移



売上高
34億8百万円

経常利益
2億47百万円

売上高

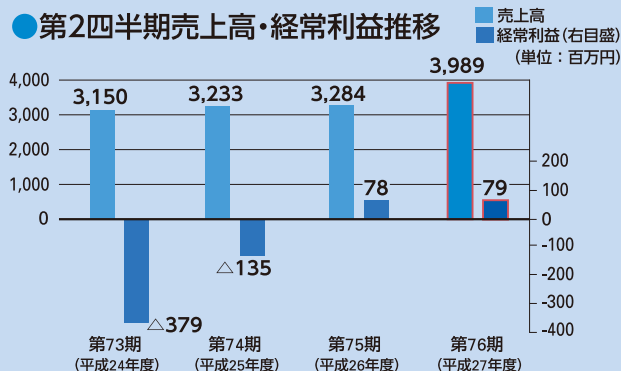
熱交換器等防衛関連製品の出荷の増加や、ADPの販売も堅調に推移したことから、前年同四半期に比べ増加しました。

経常利益

売上高の増加と共に利益面も堅調に推移し、前年同四半期の経常損失を脱し、大きく改善しました。

航空機
整備事業

●第2四半期売上高・経常利益推移



売上高
39億89百万円

経常利益
79百万円

売上高

機体整備で受注及び生産が堅調に推移したことから、前年同四半期に比べ増加しました。

経常利益

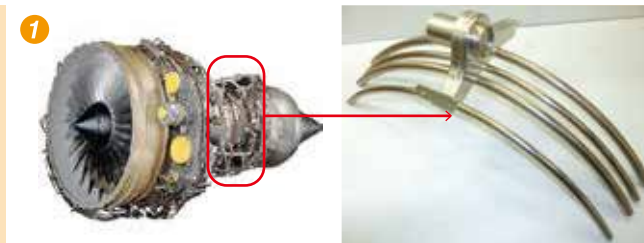
整備品整備で採算性の厳しい品目で損失を計上したことにより、前年同四半期並みとなりました。

主力であるギャレー（厨房設備）、ラバトリー（化粧室）に加えて旅客シートの製造を手掛けることで、航空機の内装品すべての注文に応えられるようになりました。世界の主要なエアラインと、ボーイング社・エアバス社などの航空機メーカーに製品の企画・設計・製造・客室改造・認証取得までをトータルに提供しています。また、国内および海外のグループの技術の総力をあげて世界中のお客様のニーズにお応えし、トップクラスのシェアを実現しています。



① ラバトリーX（ビジネスクラス）
② エアバスACSシート
③ Aircraft Interiors Expo 2015ブース

防衛関連の航空機に搭載される空調用の熱交換器、エアバス全機種に搭載される垂直尾翼やA380の二階床構造に使用されるADP（炭素繊維構造部材）、ジェットエンジン部品などを製造しています。高度な熟練技能が要求される防衛関連機器や先端技術が必要なADP、エンジン部品の製造に当社独自のノウハウが活かされています。



① 航空機エンジン用冷却部品
② 航空機搭載用各種熱交換器
③ オートクレーブ
（ジャムコエアロマニユファクチャリング 工場内）



1955年の創業以来、今日まで航空機整備会社としての歴史を受け継いでいます。国内エアラインおよび官公庁（防衛省・海上保安庁・航空大学校など）より中小型飛行機・ヘリコプターの整備・改造並びに車輪・ブレーキをはじめとした各種装備品の整備などを受託しています。これからも飛行安全の確保と品質向上を最優先にお客様へ迅速で確実なサービスを提供していきます。



① シコルスキーS76D
② ③ 2015年4月に開所した中部事業所

四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,050,112	4,572,245
受取手形及び売掛金	20,677,111	18,727,680
商品及び製品	1,057,875	944,634
仕掛品	19,188,415	23,119,748
原材料及び貯蔵品	17,138,642	19,654,970
その他	7,625,088	7,068,069
貸倒引当金	△4,753	△4,622
流動資産合計	68,732,492	74,082,725
固定資産		
有形固定資産	13,692,759	14,243,230
無形固定資産	1,217,153	1,113,403
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,361,463	4,037,575
貸倒引当金	△81,970	△81,766
投資その他の資産合計	4,279,492	3,955,808
固定資産合計	19,189,406	19,312,442
資産合計	87,921,898	93,395,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,103,013	14,936,632
短期借入金	24,246,573	23,973,808
未払法人税等	2,364,663	1,746,576
賞与引当金	1,759,125	1,811,005
工事損失引当金	1,057,986	1,993,116
その他	9,422,727	11,364,218
流動負債合計	52,954,090	55,825,357

科目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
固定負債		
長期借入金	3,357,854	4,452,486
役員退職慰勞引当金	221,920	128,435
執行役員退職慰勞引当金	71,127	94,931
退職給付に係る負債	6,432,737	6,339,921
環境対策引当金	7,089	7,089
その他	379,311	332,407
固定負債合計	10,470,040	11,355,271
負債合計	63,424,130	67,180,628

科目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	13,453,776	15,205,739
自己株式	△30,070	△30,070
株主資本合計	23,151,592	24,903,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,799	95,309
為替換算調整勘定	500,127	442,311
退職給付に係る調整累計額	△19,101	△2,132
その他の包括利益累計額合計	581,826	535,487
非支配株主持分	764,349	775,494
純資産合計	24,497,768	26,214,539
負債純資産合計	87,921,898	93,395,167

四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	34,413,247	42,554,877
売上原価	27,370,900	34,057,770
売上総利益	7,042,346	8,497,107
販売費及び一般管理費	3,905,510	4,588,735
営業利益	3,136,836	3,908,371
営業外収益		
受取利息	554	616
受取配当金	2,195	2,858
為替差益	483,703	126,687
持分法による投資利益	19,259	12,321
保険配当金	8,832	2,959
助成金収入	10,650	63,932
その他	83,150	13,503
営業外収益合計	608,345	222,879
営業外費用		
支払利息	122,421	130,431
その他	26,343	19,432
営業外費用合計	148,765	149,863
経常利益	3,596,416	3,981,387



科目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	137,615	-
固定資産売却益	37	445
段階取得に係る差益	259,210	-
特別利益合計	396,863	445
特別損失		
固定資産処分損	3,305	10,526
その他	-	1,522
特別損失合計	3,305	12,049
税金等調整前四半期純利益	3,989,974	3,969,783
法人税、住民税及び事業税	1,729,694	1,246,508
法人税等調整額	△296,560	△4,579
法人税等合計	1,433,133	1,241,928
四半期純利益	2,556,840	2,727,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,034	37,000
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,538,805	2,690,853

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,989,974	3,969,783
減価償却費	928,089	1,168,250
のれん償却額	96,345	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△29,131	△137,369
引当金の増減額(△は減少)	788,889	986,888
受取利息及び受取配当金	△2,749	△3,475
支払利息	122,421	130,431
為替差損益(△は益)	35,547	1,055
持分法による投資損益(△は益)	△19,259	△12,321
投資有価証券売却損益(△は益)	△137,615	-
段階取得に係る差損益(△は益)	△259,210	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,676,721	1,883,116
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,987,197	△6,470,117
仕入債務の増減額(△は減少)	785,524	930,068
前受金の増減額(△は減少)	117,049	1,627,835
未払又は未収消費税等の増減額	△149,984	1,036,971
その他	89,413	530,549
小計	5,044,830	5,641,666
利息及び配当金の受取額	2,752	25,338
利息の支払額	△124,636	△134,347
その他の収入	109,689	76,834
その他の支出	△13,679	△3,839
法人税等の支払額	△1,718,947	△2,121,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,300,008	3,483,949

科目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,161,403	△1,656,299
有形固定資産の売却による収入	5,557	1,712
投資有価証券の取得による支出	△1,410	△1,442
貸付金の回収による収入	3,701	2,409
貸付けによる支出	△4,141	△3,184
連結の範囲の変更を伴う子会社 株式の取得による支出	△727,382	-
その他	14,392	△141,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,870,685	△1,798,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,929,408	21,738,940
短期借入金の返済による支出	△20,634,420	△20,919,730
長期借入れによる収入	600,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△792,016	△1,111,835
リース債務の返済による支出	△129,435	△102,935
自己株式の取得による支出	△74	-
配当金の支払額	△400,387	△936,727
非支配株主への配当金の支払額	△46,174	△9,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△473,099	△141,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,171	△21,835
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	979,394	1,522,133
現金及び現金同等物の期首残高	1,589,435	3,050,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,568,830	4,572,245



会社概況 (平成27年9月末現在)

会社概要

商号 / 株式会社ジャムコ
 本社 / 東京都三鷹市大沢六丁目11番25号
 設立年月日 / 昭和24年3月15日
 創立年月日 / 昭和30年9月1日
 主な事業内容 / 航空機内装品等製造関連事業
 ギャレー、ラバトリー、シート、ギャレー搭載用各種装備品等の製造
 航空機器等製造関連事業
 熱交換器、航空機用炭素繊維構造部材、民間航空機エンジン部品等の製造
 航空機整備等関連事業
 航空機の機体、客室、装備品等の整備・改造
 資本金 / 5,359,893千円
 従業員数 / 連結:2,991名 個別:1,208名

役員

代表取締役社長	鈴木善久	執行役員	浅利和美
代表取締役副社長執行役員	大倉敏治	執行役員	市原一義
代表取締役副社長執行役員	大上克裕	執行役員	鈴木雅人
代表取締役専務執行役員	関川安雄	執行役員	加藤正道
取締役常務執行役員	青木康成	執行役員	政木慎策
取締役常務執行役員	木村敏和	執行役員	田所務
取締役執行役員	粕谷寿久	執行役員	後藤健太郎
社外取締役	大崎直哉	執行役員	西宮和夫
社外取締役	荒川清朗	執行役員	伊田幸男
社外取締役	鈴木伸一	執行役員	阿尾充啓
監査役	和田正史	執行役員	内城浩
監査役	磯上範好		
社外監査役	河村寛治		
社外監査役	木須芳紹		

事業拠点 (平成27年9月末現在)

事業所 / 子会社 / 関連会社一覧

本社 東京都三鷹市

航空機内装品カンパニー

●内装品工場 東京都立川市

航空機器製造カンパニー

●機器製造工場 東京都調布市

航空機整備カンパニー

●機体整備工場 宮城県岩沼市

帯広事業所 北海道帯広市

中部事業所 愛知県常滑市

宮崎事業所 宮崎県宮崎市

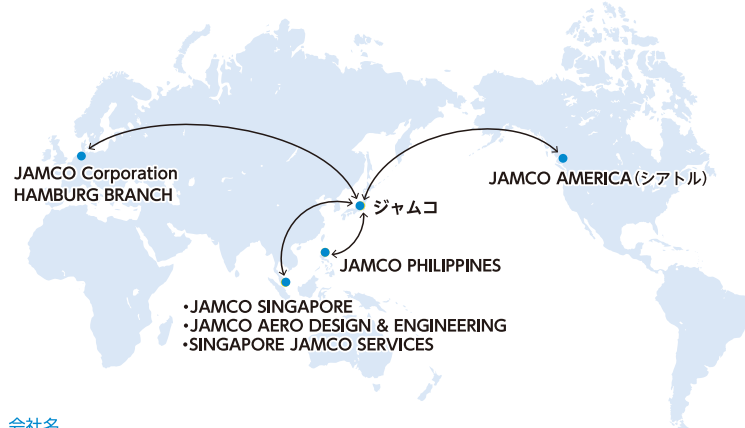
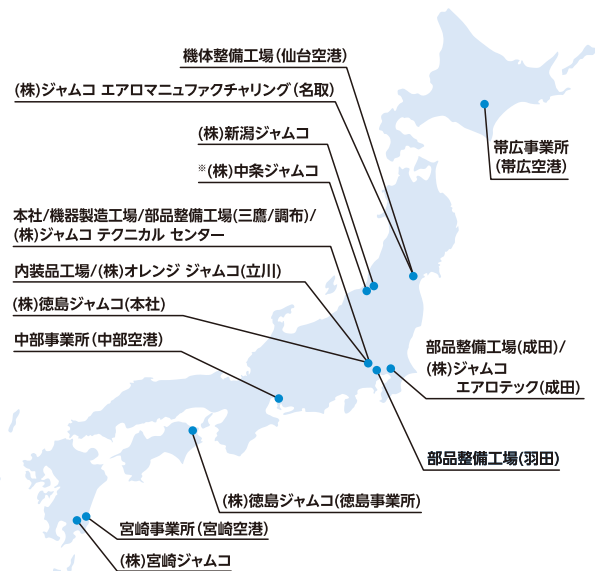
●部品整備工場

千葉県成田市

東京都大田区

東京都調布市

※ 株式会社中条ジャムコは平成27年6月に設立、10月に操業を開始しました。



会社名

株式会社新潟ジャムコ
 株式会社宮崎ジャムコ
 株式会社徳島ジャムコ
 株式会社ジャムコ エアロテック
 株式会社オレンジジャムコ

株式会社ジャムコテクニカルセンター
 株式会社 ジャムコ
 エアロマニュファクチャリング
 株式会社中条ジャムコ
 JAMCO AMERICA, INC.
 JAMCO SINGAPORE PTE LTD.

JAMCO AERO DESIGN & ENGINEERING PTE LTD.
 JAMCO PHILIPPINES, INC.
 SINGAPORE JAMCO SERVICES PTE LTD.

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7408/7408.html (但し、電子公告によることが出来ない事故、その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) なお、計算書類及び連結計算書類に係る情報は、インターネット上の当社ウェブサイト(http://www.jamco.co.jp/)においてご覧いただけます。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

■平成27年9月末現在

株式の状況

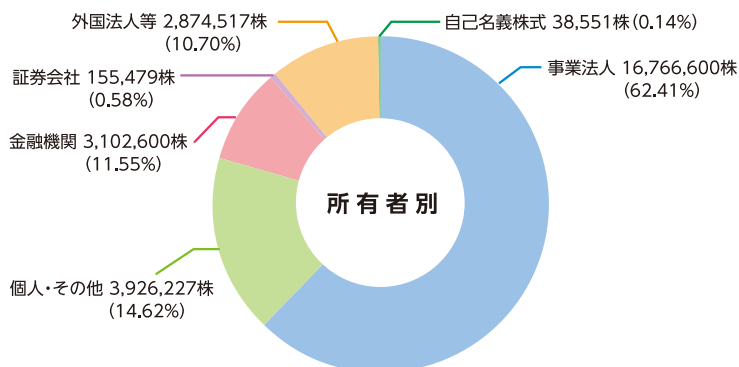
発行可能株式総数 / 80,000,000株

発行済株式の総数 / 26,863,974株

株主数 / 4,098名

上場証券取引所 / 東京証券取引所第一部(証券コード7408)

株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	8,956	33.38
ANAホールディングス株式会社	5,373	20.03
昭和飛行機工業株式会社	2,003	7.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	808	3.01
ジャムコ従業員持株会	444	1.65
ザバンクオブニューヨークSANV10	417	1.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	285	1.06
ザバンクオブニューヨーク 133522	255	0.95
第一生命保険株式会社	234	0.87
三菱商事株式会社	221	0.82

(注)持株比率は、自己株式(38,551株)を控除して計算しております。

株式会社 ジャムコ

〒181-8571 東京都三鷹市大沢六丁目11番25号
TEL 0422-31-9111(代表)
TEL 0422-31-6112(広報・IR 経営企画部)

※本資料に記載されております当社の計画や予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に判断したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。